

# 2024年度 IFA 審判員強化研修会兼インストラクター研修会

(公財)茨城県サッカー協会 審判委員会



鹿嶋サッカーフェスティバル2024(ユースの部)のご協力のもと、IFA 審判員強化研修会兼インストラクター研修会を開催しました。

毎年行われているこの研修会は、3級～1級まで様々なカテゴリーの、たくさんの審判員とインストラクターが参加して行われる、茨城県の主要な審判研修会のひとつとなっています。

- 【研修会期間】 2024年8月11日(日)～12日(月)  
(大会期間)2024年8月11日(日)～13日(火)
- 【参加者数】 審判員 56名インストラクター:36名
- 【試合】 8/11(予選リーグ:24試合)  
8/12(予選リーグ:12試合、順位決定戦:12試合)  
8/13(順位決定戦、決勝戦:13試合)

## 【研修内容】審判員:

・試合の実践



・他の審判員の観戦研修



・アセッサーと試合の振り返り



・座学講習

【研修内容】インストラクター:

- ・WEB による事前ガイダンス
- ・審判員と試合の振り返り



- ・観戦研修(評価のすり合わせ)



- ・座学講習
- ・アセスメントレポート作成

【座学講習】8/11 19:00～ @鹿島勤労文化会館

- ・ポジショニングと動き(柿沼亨 1級審判インストラクター)

試合中のポジショニングと動きは何のために行うのかを再確認しました。また、グループワークを通じて、適切なポジションに動くために意識することを考え、参加者全員と共有しました。グループによっては、短い時間で40個近い要素を挙げており、活発なディスカッションが行われていました。



- ・茨城県審判員の現状について(藤ヶ崎敦 1級審判インストラクター)

現在関東の審判員に求められていることと、茨城県の審判員の現状について話をさせていただきました。競技規則の理解やフィジカル能力等はさらに向上させていく必要があり、茨城県の審判員みんなで取り組んでいきたいと思いますと話がありました。





### 【参加審判員より研修会の感想】

厳しい暑さでしたが、納得感のある正しい判定を行うために、プレーとの距離感を意識してポジショニングをとりました。チームの戦術や選手の特徴、プレーの予測などあらゆる情報を集めて、適切なポジショニングでレフェリングすることの重要性を再確認しました。

座学研修では、柿沼氏から「ポジショニングと動き」の講話をいただいた後、グループで、ポジショニングと動きで考慮すること

について考えました。自分の引き出しにない考えに触れることができ、新たな学びが多くありました。

その後、藤ヶ崎氏から「茨城県の審判員の現状」という講話をいただきました。現在茨城県の代表として関東カテゴリーで活動する自分としては、大きく責任を感じました。今まで以上に、普段のトレーニングや競技規則の理解に努めていこうと思います。

自分の好きなサッカーを、審判員として良い試合をつくることができるよう、本研修で学んだ「ポジショニングと動き」を意識して、2024 シーズン残りの試合に臨んでいきたいです。

### 《決勝担当審判員》



### 【最後に】

多くの方々のご理解、ご協力のもと、無事に大会の開催並びに研修会が開催出来ましたこと、関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

今年の研修会は、「ポジショニングと動き」を共通テーマとし、何のために動くのか、そのために何を意識するのか、ということに参加者全員で考えていきました。大会2日目、3日目のレフェリングでは、多くの場面で、意識をしながらポジショニングや動きをしているのが見られ、意識が高まっている様子がうかがえました。また、インストラクターの方々も、研修会前のガイダンスや、研修会中の試合評価のすり合わせ等を通じて、多くの共通理解をはかることができました。

研修会では、多くの方々とのレフェリングの話をする中で、新たな気づきや刺激を得ることができたと思います。これを今後の審判活動に活かし、チーム茨城として、審判員、審判インストラクターのレベルアップに取り組んでいきたいと思っています。

(文責:柿沼亨)